ハンドマイク街頭演説原稿例　通常国会開会・裏金疑惑解明を

二〇二四年一月三十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　１月２６日から通常国会が始まりました。毎年１月から始まる通常国会は、国の新年度予算を審議決定する国会であり、開会日に総理大臣の施政方針演説、この１年の政治の方針を示す演説が行われてきました。ところが今回は施政方針演説をする前に、「政治とカネ」の問題についての予算委員会集中審議が開かれるという、異例な始まりとなりました。

　政治資金集めパーティーをめぐる裏金疑惑で何人もの逮捕者を出し、国会でも委員長が何人も交代に追い込まれました。国会でも裏金疑惑の真相を明らかにすることがどうしても必要ではないでしょうか。ところが疑惑を持たれた国会議員は真実を語ろうとせず、秘書などスタッフに責任を押し付けてばかりです。金額の多少にかかわらず、報告すべきものを報告しなかったこと自体が明らかな違法行為です。企業や自営業の方が利益を隠したら、追徴課税というペナルティがかけられるところです。

　自民党は政治刷新本部をつくりましたが、話題になっているのは派閥の解消ばかりで、疑惑への真剣な反省も、法律の抜け穴をふさぐための具体的対策も見えてきません。今やるべきことは真相究明ではないでしょうか。日本共産党は疑惑の徹底解明のため、国会での証人喚問や集中審議などを行うよう、引き続き求めてまいります。日本共産党はまた、パーティー券購入を含めて企業・団体からの政治献金を全面的に禁止する法案を参議院に提出しました。この法案を成立させ、金権腐敗政治をなくすため、日本共産党は引き続き全力で取り組んでまいります。

　さてみなさん、この国会は能登半島地震への対策対応も重要な課題になります。一連の地震で亡くなられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、被害に遭われたみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。日本共産党は国会が始まる前に開かれた委員会審査の場で、現場の切実な声を届け、政府の対応を求め、実現させてきました。しかしながら、現在の支援制度は被害の大きさに比べてあまりにも貧弱です。住む家を再建するための支援の引き上げや支援対象の拡大、地震などで仕事ができない事業者への休業補償や復興支援が必要です。直面する課題へのすみやかな対応と、中長期的な支援策の両面から政治を動かすため、日本共産党は引き続き全力をあげます。

　日本共産党は被災地救援のための募金に取り組んでいます。これまでに全国から１億円を超える募金をお寄せいただきました。ご協力に感謝を申し上げるとともに、引き続きご協力をお願いします。お預かりした救援募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者の救援、被災自治体への義援金として責任をもってお届けします。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）